

# 平城宮跡自然観察会

自然教室チーム 辻本信一

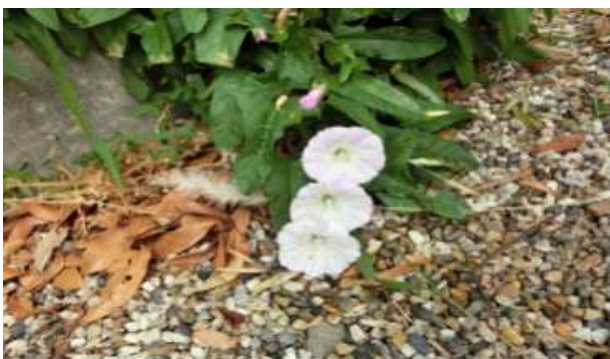
6月11日(火)、自然教室チームは互いの研鑽と自然に対する造詣を更に深める事を目的に月一度の観察会を平城宮跡にて実施致しました。

当日は台風接近の影響による不安定な空模様にも拘らず自然教室チームのメンバーを中心に12名が集い活気あふれる観察会と成りました。



平城宮跡資料館近く佐伯門前では行き成りコヒルガオが優しげで可憐な姿を見せてくれメンバーの平岡さんによるコヒルガオのインプリプレイで観察会の幕が切って落とされました。

説明通り鉾形で直角に張出した葉身の基部に小さな分裂を見つけ一同納得。更にならやまでよく目にするサツマイモも同じヒルガオ科と聞き驚きの声。



(コヒルガオ3兄弟?)

代表の倉田さんからは平城宮跡はイネ科植物の宝庫として夙に有名であることが紹介されイネ科植物観察のポイントを代表的なスズメノカタビラの図解をもとに教えて頂きました。雄蕊、雌蕊もしっかり付けルーペで垣間見た世界は紫色の色彩も交え私達のこれまでのイネ科のイメージを一新させました。



(説明に聞き入る参加者)

つい先週まで黄色い烏帽子の様な可愛い花を咲かせていたミヤコグサは長い豆果を一つの軸に複数実らせ、まるで傘の骨組の様で我々を驚かせました。またシロツメグサの小花の奥にはスズメノエンドウにも似た小さな豆果がハッキリと見られ感動を覚えました。



(風にそよぐブタナの黄色い花)

辺り一面に黄色い花を咲かせ風にそよぐブタナの光景に一同ウツリ。その横では自慢げに黄色の雄蕊の葯を目立たせているワルナスビの白い花。ひとつひとつ取り上げて行けば切りの無いくらいやはり平城宮跡は野草の宝庫でした。

朝10時に始まり昼2時半までの4時間近くの観察会は終って見れば30種近くの植物との感動の出会いの時間と成りました。この感動を次回は皆様とも分かち合いたいと思います。次回観察会には皆様も是非奮って御参加下さい。自然教室チーム一同、心よりお待ちしております。